

スマイルミュージックフェスティバル映像作品

# 生きて 生きて きたい



ゲスト  
こじまいづみ  
(花\*花)

令和3年  
2月21日(日) 14:00より YouTubeにて独占配信開始!

障がいのある人もない人も、共に音楽で笑顔に！とスタートした  
スマイルミュージックフェスティバル。会場に集まって開催することはできなくても、  
出演者のみなさんの気持ちや思いが「うた」という形で1つになりました。

## 出演者

友克&ヤス with powerful family's / ふれあい会 / 工房ソラ  
なづな学園 / かしの木学園 / 大照学園授産部  
メレマカニ♪ (例年参加団体)

## 実行委員会

NPO法人音の風 / 社会福祉法人京都市東山区社会福祉協議会  
京都市東部障害者地域生活支援センターらくとう / 京都市東山青少年活動センター

視聴方法や作品内容についてなど、  
詳しくは、「NPO法人音の風」公式ホームページをご覧ください。

<https://www.otonokaze.org/>



# 「生きて生きていきたい」 誕生秘話



2018年度開催のスマイルミュージックフェスティバルの様子。

2006年にスマイルミュージックフェスティバルが始まってから14年。当時、東山区の障害者福祉の推進を目的に実行委員会が立ち上がり、障がいのある人もない人もともに音楽で交流しようと、年に1度、総勢300名が一堂に会する音楽イベントを開催してまいりました。しかし、昨年度3月の開催を目前に、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中止もしくは延期という苦渋の決断をし、その後も緊急事態宣言が発令されるなど事態は悪化、フェスティバルの開催は絶望的な状況になり、障がいのある方や来場者の健康と安全を最優先に考え、正式に開催を中止する運びとなりました。

そして今年度に入り、フェスティバルの開催ができるのかどうか検討を始めたものの、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない状況の中では、やはり来場型のイベント開催は難しいだろうという判断をするとともに、このコロナ禍でも何か方法はないか出演者のみなさん



こじまいづみさんによるうたづくりワークショップの様子。

に相談をしてみました。「今年のスマイルも中止が決まりました。このような状況の中でも何かできることがあればよいのですが……」すると、施設内での活動でさえ厳しい状況の中で、「中止はもつたいない。何かできることをしたい」という言葉が。もちろん、出演者の中には、まったく活動の見通しが立てられず、年度内活動は全て中止になってしまったというお話や、何かやりたい気持ちはあっても実際には難しいという現実的なお話などをいただくなかで、ある施設から「出演者で歌詞を持ち寄って、歌を作ってはどうか？」というアイデアが。一筋の希望が見えま



「大好きなことや苦手なことは何ですか？」の問いかけに言葉を紡ぎだす参加者。

した。そこから、「うたづくりワークショップと映像作品の制作」を企画し、うたづくりにはこじまいづみさん（花＊花）、映像制作には、平澤直幸さんに協力を要請し、11月に、ふれあい会、工房ソラの2つのグループで歌詞づくりワークショップを開催しました。その他の出演者からも歌詞を募集したところ、たくさんのお詞が寄せられ、集まった素敵な言葉をモチーフにこじまいづみさんが作曲。12月には、出演者のみなさんの施設を訪問して音楽活動の様子を映像に収めました。「ちゃんと撮ってよね」という表情でダンスをしてくれたり、インタビューに緊張しながらも、「しゃべりたい」と言ってくれたり、映像にはそんな様子がいっぱい詰まっています。

## STAFF



ワークショップ & 作曲担当  
**こじまいづみ**

幼少から始めたピアノと、中学生の頃出逢ったゴスペルを通じてライブ活動を重ねる。音楽専門学校時代の同級生、おのまきこと2000年、ワーナーミュージックジャパンより「花＊花」としてメジャーデビュー。シングル7枚、アルバム6枚をリリースし全国でライブ活動を行う。2003年、花＊花としての活動を休止。2009年、花＊花のデビュー10周年を記念して活動を再開。2020年、花＊花20周年を迎える。現在はソノ名義でも共に活動中。

チラシデザイン／武田まりん  
コーディネート／村上慎太郎（夕暮れ社 弱男ユニット）  
プロデュース／西野桂子（NPO法人音の風）  
協力／東山区地域啓発推進協議会  
京都市岡崎いきいき市民活動センター  
助成／京都府文化活動継続支援補助金  
京都市人権啓発活動補助金  
赤い羽根共同募金



映像制作担当  
**平澤直幸**

1987年生まれ。TVや映画の現場を経て、演出家・ダンサーの倉田翠が主宰を務める集団、akakilikeに参加。以後、舞台作品の演出助手や映像演出を担当。京都市「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」において、京都・東九条地域で制作された舞台作品『はじめまして こんにちは、今私は誰ですか？』の映像演出・演出助手を務める。同作品で、ROOMシアター京都×京都芸術センターU35創造支援プログラム「KIPPU」選出。令和元年度東アジア文化都市交流事業レジデンスプログラムに参加し、韓国・大邱市へ派遣。大邱芸術発電所に滞在し、映像作品『撤去』を現地で制作・発表した。